

地域とつながり、地域で学ぶ 生涯学び続けることのできる大学へ ～「夢をかなえるセンター」誕生～

相模女子大学 就職支援課

課長 澤藤 桂



1 夢をかなえるセンター

本学では、学生の主体的な学びへの支援を充実させることを目的として、2018年3月に「夢をかなえるセンター」を新設した。

1900年に設立された日本女学校に始まり、今年で創立118年を迎える本学は、1965年から相模原市とともに市民大学のプログラムを開設するなど、長きにわたって地域社会との連携事業に力を入れてきたが、今後さらに地域連携の取り組みを充実させるとともに、それらのプログラムを就職活動支援にも関連付けた取り組みとして発展させる。

近年、「見つめる人になる。見つかる人になる。」というスローガンを掲げ、学生の発想力の育成に力を入れてきたが、その学びを将来の夢につなげるための支援体制が明確化されたと言える。

多くの大学では、「キャリアセンター」といった名称の組織で職業教育や就職指導が行われているが、本学ではキャリア形成そのものを「社会との関わりの中で積み重ねる全ての経験を通して、社会と自分自身をしっかりと見つめ、自らの進む道を見つけ出し、人生を前向きに生きていくこと」であると定義している。そのため、「自分の世界を広げる場」や「自分の人生を考える場」など、様々な学びの場を提供するとともに、就職支援のスタッフだけでなく、教職員が一体となって学生のキャリア形成を支援するために、このセンターが設置された。

運営体制としては、地域連携、学園

連携、国際交流などを所管する「連携教育推進課」、職業教育、就職指導、進学支援を所管する「就職支援課」、そして、資格取得支援や社会人向け教養講座などを所管する「生涯学習支援課」の三つの課が中心になってプログラムを開発している。

本学には地域連携活動や学園連携活動など、他大学にない独自の課外活動プログラムが用意されており、産学連携も含めた地域連携活動では、北海道から福岡県まで全国各地へ学生が出勤し、農業体験や伝統文化体験、女性の働き方研究などの取り組みを行っている。また、学園連携活動では、幼稚部から大学までがひとつのキャンパスに設置されている利点を活用して、国際教育や日本伝統文化教育、食育・健康教育、ICT教育などを、学園全体で連携しながら実施している。

2 「地域と交流する場」と「支援を受ける場」を一元化

センターのある場所は、もともとは学生食堂や喫茶室、ホールなどが設けられていた建物で、ここは学生と地域の人々がともに考え、発想し、夢に向かって行動するためのスペース、いわゆるラーニングcommonsとして生まれ変わっている。電子黒板や貸し出し用PC、可動式ホワイトボード、Wifi環境の整備などを行うとともに、社会の様々な場面で活躍している「働くオトナ」をアドバイザー等として迎え、さらにこれらの活動を支援する各部署を建物の一階に設置した。

「地域の人々と交流する場」と「支援を受ける場」を一元化することで、効



果的かつ効率的に地域との連携活動を推進することができ、さらに、飲食が可能なスペースにラーニングcommons機能を整備したことで、地域の人々が集いやすく、自由に語り合える雰囲気を作られるため、学生にとっても主体的に学修に取り組むことができるようになった。

また、地域の人々からの要望も取り入れ、ユニバーサルデザインの設備として車椅子の方にも対応できるテーブルなどを設置した。

3 今後も地域とつながり続ける

全ての卒業生にとって、本学で積み重ねた経験と身につけた知識が、就職活動時だけでなく、卒業後何年経過しても前を向いて生きていくための拠り所であり続けるとともに、本学が「地域とつながり、地域で学ぶ、生涯学び続けることのできる大学へ」とさらに進化するため、様々な学びの場をこれからも提供し続けたい。